



道徳だより

1月号

南砺市立井波中学校
令和5年1月20日発行

新しい年を迎えて

3学期が始まりました。学年を締めくくる学期であり、次の学年へつながる学期です。学校生活では、入学式や卒業式、それぞれの学期の始業式など、「節目」を大切にしています。「節目」ごとに、お子さんと道徳について振り返ってみたり、お子さんの考えについて聞いてみたりするなど、お子さんと話す機会を設けてみてはいかがでしょうか。

さて、今月号は生徒たちの道徳の感想を中心に紹介します。教材の簡単な内容や授業の様子は、ホームページ「道徳の部屋」で公開しておりますので、ぜひご覧ください。

2 学年



「渡良世川の鉱毒」の感想から

- ・人やみんなのために、役立とうという心を強くもつことが大切だと思う。
- ・困っている人を見つけたら、その人を助けたいと思う心が大切だと思う。
- ・何かを犠牲にしても変わらない信念をもつことが大切だと思う。

足尾銅山の鉱毒の被害を受けた人々のために田中正造氏が尽力した話から正義を貫くことの大切さについて触れました。彼の功績や地域のために尽くし、正義を貫く姿勢に生徒たちは心動かされました。

3 学年



「将来の自分を見つめて～好きな仕事か安定か悩んでいる～」の感想から

- ・安定も大事だけど、今しかできないこともあるだろうから、「やりたい」と思う仕事をすればよいと思う。後悔はしたくない。
- ・いろいろな生き方があり、人生は何度でもやり直しができるとわかった。自分の人生だから自分でしっかり考えて進路を決めたい。

進路選択で一番大切なのは自分の気持ちであることに気がきました。どんな生き方をしたいのか、自分を見つめ直す機会となりました。

1 学年



「風を感じて～村上清加のチャレンジ～」の感想から

- ・自分が今、生きていることはすごいことだと思って感謝し、諦めないで挑戦したい。挑戦し続けることは、最初は難しいけれど、できることをどんどんしていきたい。
- ・何度も失敗しても諦めない心で生きること、人生につまずいても何度も立ち上がることが大切だと思った。七転び八起き。

困難との向き合い方や挑戦することのすばらしさについて考え、生徒たちは前向きな気持ちで挑戦し続けることの大切さに気付くことができました。

キリトリ

道徳だより1月号 返信

(年 お名前

)

※こちらからも返信できます。(回答フォームが開きます)

